

事業計画名【平成28年度】

文化財写真のウェブ配信・提供及び一般公開サービスの構築

Overview ～事業概要～

- フィルムなどのアナログコンテンツのデジタル化を含めた新運用システムの構築により、貸出手順の簡素化、寺院許可の代行によるユーザーへの利便性向上、文化財写真のデジタル保存が可能となった

Products

～取扱商品～

寺社文化財だけでなく、その宗教空間や風土までも撮影し続ける 株式会社飛鳥園

当社は創業以来90年以上撮影してきた国宝・重要文化財、歴史的・資料的価値の高い貴重な写真を、出版社、教育研究機関などの利用者に貸し出すストックフォト業務を行っている。

【写真撮影】



【仏像・文化財写真のご利用】



【媒体製作】



BackGround

～事業化にいたる経緯・背景～

【コンテンツ・システムにおけるアナログ運用の限界】

- ・創業以来90年以上撮影してきた国宝・重要文化財、歴史的・資料的価値の高い貴重な写真の大半はアナログコンテンツのままで貴重なコンテンツを十分に有効活用できていなかった。
- ・フィルム、ガラス乾板の経年劣化への対応も必要であった。
- ・貸出手続きも人手で実施しており、ユーザー・当社・寺院のいずれにとっても非常に手間のかかるスキームとなっていた。
- ・大半の寺院の写真の使用には許可が必要で、許可に伴う志納金等も必要であり、利用者にとって手間と時間のかかる要素となっていた。



【デジタル化による業務の転換】

「コンテンツのデジタル化の遅れ」「フィルム、ガラス乾板の経年劣化への対応」「人手に頼った貸出手続き」に対する対応が急務であり、加えて、「寺院許可の取得・寺院志納金の納付」がユーザーの利便性の向上のため必要であると考え「フィルム等のアナログコンテンツのデジタルデータ化」「デジタルコンテンツのデータベース作成」「ウェブ検索・配信システム（運用管理システム）の構築」「ウェブギャラリーの構築」に取組んだ。



株式会社 飛鳥園

■設立 昭和43年4月

■事業内容 文化財写真撮影 仏教美術関連企画・制作

■本社所在地 奈良市登大路町59

■URL <http://www.askaen.co.jp/>

■資本金 3,000万円

■従業員数 5名

■TEL 0742-22-2872

■E-MAIL info@askaen.co.jp



■代表者 代表取締役 小川 光太郎

創業者である小川晴暘がここに飛鳥園を開いたのは大正11年。以来90年以上にわたり仏像を始めとする文化財、宗教空間とその風土を撮影してまいりました。現在も奈良を始め、京都、滋賀他近畿一円を中心に御寺院様、神社様、文化財管理者様の御協力を戴き、撮影を行っております。現在はデジタルデータ化も進め、教科書、教材、美術出版、旅行誌等にご利用いただいております。

Contents

～事業の詳細・成果～

～アナログコンテンツのデータ化とウェブ検索・配信システムの構築～

（1）コンテンツのデジタルデータ化

コンテンツ画像のデジタルデータ化について、フィルム、ガラス乾板のデジタルデータ化をすすめた。「複写台撮影によるデジタルデータ化」「ガラス乾板専用スキャナー及び印画紙スキャニングによるデジタル化」

（2）デジタルコンテンツのデータベース作成

データベース構築の基礎となるサーバー、データ収納用ストレージ等の構築内容を決定。データベースの階層、検索項目の検討を行った。

（3）ウェブ検索・配信システム（運用管理システム）の構築

1. 仏像等の写真の検索から貸出までの手続きをWEB上で完結できるデジタルコンテンツのWEB検索・配信システムを構築。
2. WEB検索・配信システムの構築にあたり、現状の貸出手続きを検証。出版社・旅行社など、ユーザーの利便性を考慮。
3. 画像の無断使用・コピー等に対応する当社の著作権保護および寺院を中心とする被写体所有者にも十分配慮したシステムとし、データベース構築の基礎となるサーバー、データ収納用ストレージ等の構築内容を決定。データベースの階層、検索項目の検討を行った。

対応手段	電話・メール
対応時間	9:00～18:00（営業時間） 土日祝日は対応不可
所要時間	・平均 5日 ・手続き工程(20工程)
ユーザーの利便性	・問い合わせ時間が限られている ・仏像の所在や名等が不明 ・手続きが煩雑

ウェブ検索・配信システム
営業時間に限らず24時間対応 365日対応可能
・平均 2日 ・手続き工程(16工程)
・いつでも検索可能 ・データベース化され、検索が容易 ・手続きが簡便

アナログコンテンツについて、利用価値・利用頻度が高いと思われる約6,000点を選び、デジタルデータ化を進めると共に、デジタルコンテンツのデータベース作成およびウェブ検索・配信システムの構築に取組むことにより、ユーザーの利便性も向上。

Task

～事業化における課題～

課題① スキャニングの技術的問題

外部業者でスキャニングを実施しているが、設定指示のやり取りに手間がかかり、オペレーターの仏像写真の経験や勘などの個人差で品質・色表現に差が出てしまう。

課題② 電子透かし

強く入れると、スマホなどで撮影しても検出できるが画像は劣化してしまう。逆に弱いと劣化は低減できるが検出率が落ち、有効性が下がる、というジレンマが残る。

課題③ 許認可の問題

被写体の許認可については、全ての寺社に説明の上、ご理解をいただいている。基本的に拒否されることはないが、説明など何度も訪問する必要があり、時間がかかる。

Solution

～解決への道筋～

施策① 品質チェック

スキャン結果についてはベテランのカメラマンによる最終チェックを行い、品質を確保する。しかし、カメラマンに負担が集中するため、品質管理体制を模索中である。

施策② 物によって強度を変える

サンプル画像は強めに設定し、実際に貸し出す本データは被写体・構図・色などを考慮し、画像単位で劣化具合を確認しながら強さを調整していく。

施策③ 誠意を見せた姿勢で

今までのやり取りが蓄積された結果、得ることができた信頼をもって許認可いただいている、と考えている。そのため、時間がかかっても1つ1つの寺社で、納得いただくまで誠意をもった説明を続けていく。

Future

～今後の事業スケジュール～

- 各既存ユーザーに対して積極的にPRすることで、早期の事業の立ち上げとストックフォト業務の売上拡大を図るとともに、ネット上でのWEBマーケティング、DM発送などの営業活動を展開することで、新たなユーザーの開拓、取り込みも進めていきたいと考えている。
- 売上目標：初年度実績の約180%を目標としている。

